

2022 年度

授業概要

科目名	聴覚障害演習			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年		必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

聴覚の発達とその障害の多様性について習得する。

〔授業全体の内容の概要〕

言語聴覚障害の種類の1つとしての聴覚障害について学ぶ。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

聴覚障害の基礎とその障害への対応について理解する。

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	聴覚経路とその障害 (1)
3	聴覚経路とその障害 (2)
4	伝音難聴と感音難聴 (1)
5	伝音難聴と感音難聴 (2)
6	伝音難聴と感音難聴 (3)
7	聴覚の発達 (1)
8	聴覚の発達 (2)
9	聴覚障害とコミュニケーション・モダリティ (1)
10	聴覚障害とコミュニケーション・モダリティ (2)
11	補聴器と人工内耳 (1)
12	補聴器と人工内耳 (2)
13	聴覚障害へのアプローチ (1)
14	聴覚障害へのアプローチ (2)
15	まとめ

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
なし・配布プリント		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。